

(5) 講演

ア. 口頭発表

- ・ 岡部靖憲, “日本の失われた10年における経済現象の時系列解析(2):マネーサプライとGDPの間の非線形弱因果性とIS-LMモデル”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析1-経済現象・生命現象, 明治大学, 東京, 2009年7月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析2-地球物理現象, 明治大学, 東京, 2009年9月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(2)”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析3-経済・物理現象, 明治大学, 東京, 2009年11月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(3)”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析4-工学・生物・物理現象, 明治大学, 東京, 2010年1月
- ・ 岡部靖憲, “リーマンのゼータ関数とKM20ランジュヴァン方程式論”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析5-工学・経済・物理現象, 明治大学, 東京, 2010年3月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(4)”, 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」[非線形時系列に対する現象数理学の発展]シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析4-工学・経済・物理現象, 明治大学, 東京, 2010年3月
- ・ 向殿政男, “安全と安心の“そもそも”を考える”, 中央安全対策会議(人事院), 人事院大会議室, 東京, 2009年5月
- ・ 向殿政男, “ザデーのファジィ論理 ~ファジィの源泉をたずねて~”, 第25回ファジィシステムシンポジウム(日本知能情報ファジィ学会), 筑波大学, 茨城, 2009年7月
- ・ 向殿政男, “安全曼荼羅と安全学”, 第4回日本安全学教育研究会, 宮城大学, 宮城, 2009年8月(日本安全学教育研究会誌, Vol.2, pp.83-88)
- ・ 向殿政男, “安全の理念について”, 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会, 総合工学委員会, 日本学術会議, 東京, 2009年9月
- ・ 向殿政男, “ロボットの安全を考える~ロボットと人間が共同で作業をする時代を迎えるために~”, 安全技術応用研究会 200回特別記念, 2009年9月
- ・ 向殿政男, “安全の“そもそも”を考える~リスクアセスメントの目指すところ~”, 川崎市労働災害防止研究集会(川崎市), 川崎市産業振興会館, 川崎, 2009年10月
- ・ 向殿政男, “安全は設計から始まる~安全学のすすめ~”, KKE Vision 2009(構造計画研究所), 東京ビッグサイト, 東京, 2009年10月
- ・ 向殿政男, “消費者を製品事故から守る安全設計について パネルディスカッション”, 製品安全業務報告会((独)製品評価技術基盤機構), 大阪市中央公会堂(大阪会場), 2009年11月

- ・ 向殿政男, “パネルディスカッション司会: 製品事故防止に向けて～製品設計段階等におけるリスクアセスメントについて～”, 第 4 回製品安全総点検セミナー(経済産業省), 東京国際フォーラム, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “パネルディスカッション: 製品・食品の安全・安心～交通システムに学ぶ～”, 11 月シンポジウム, 品質と安全文化フォーラム, 東日本プラスチック工業厚生年金基金会館, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “安全機能実現のための制御回路例における論理構造の一考察”, 第 22 回秋季信頼性シンポジウム, 日本信頼性学会, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “社会的リスクに関するパネルディスカッション”, (独)製品評価技術基盤機構(NITE), NITE 本館, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “製品事故原因究明と未然防止についてパネルディスカッション”, (独)製品評価技術基盤機構, 文京シビックホール, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “次世代ロボットの安全”, ロボットビジネス協議会報告会(日本ロボット工業会), 東京ビッグサイト, 東京, 2009 年 11 月
- ・ 向殿政男, “安全学概論”, 「製品の安全学」講座(東日本旅客鉄道株式会社), 東日本本社, 東京, 2009 年 12 月
- ・ 向殿政男, “労働安全衛生マネジメントシステムに期待されるもの”, テクノファ年次フォーラム, (株)テクノファ, きゅりあん(品川区総合区民会館), 2009 年 12 月
- ・ 向殿政男, “鉄道利用者の意識調査に基づく, 鉄道安全に向けての一考察 –利用者の求める対策とコミュニケーションの必要性–”, 電子情報通信学会, 2009 年 12 月 (電子情報通信学会研究会技術研究会報告, 安全性, Vol.109, No.348, pp.13-16)
- ・ 向殿政男, “昇降機の安全確保と事故調査のあり方について～あるエレベーター事故調査を経験して～”, 昇降機・遊戯施設等の最近の技術と進歩, 日本機械学会, 2010 年 1 月 (技術講演会講演論文集, N0.09-97, pp.11-18)
- ・ 向殿政男, “「ものづくり安全」から「安全づくり」へ”, リスクアセスメントの推進・定着に関するシンポジウム, 日本機械工業連合会, 女性と仕事の未来館, 2010 年 3 月
- ・ 向殿政男, “公開シンポジウム: 暮らしの中の安全・安心のために～消費者への製品事故情報の伝達のあり方～”, 経済産業省主催, 千代田放送会館, 東京, 2010 年 3 月
- ・ 向殿政男, “パネルディスカッション: リスク・ゼロの危険とこれからの安全”, 安全工学フォーラム, 日本工学アカデミー, 弘済会館, 東京, 2010 年 3 月
- ・ 向殿政男, “安全と安心”, 日仏原子力フォーラム～過去・現在・未来～, 日仏工業技術会他主催, 日仏会館, 東京, 2010 年 2 月
- ・ 刈屋武昭, “環境 CSR と自己循環リサイクル型モデル”, 科研費集会「時間空間分析モデル」(代表矢島美寛), 京都, 2009 年 11 月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “確率的な配電系統拡張計画のための解の多様性を考慮した多目的 Memetic Algorithm の適用”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 I, 論文番号 25)

- ・ 石橋直人, 森啓之, “ハイブリッドインテリジェントシステムを用いた電圧安定度限界点への負荷マージン推定”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 I, 論文番号 26)
- ・ 大川健太, 森啓之, “ハイブリッドメタヒューリスティクスによる非線形燃料コスト関数を考慮した発電機の起動停止計画”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 I, 論文番号 40)
- ・ 角田広樹, 森啓之, “確率的供給信頼度を考慮した送電系統拡充計画”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 II, 論文番号 179)
- ・ 大川健太, 森啓之, “競争環境下における利益最大化のための発電機の起動停止計画への新手法”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 II, 論文番号 211)
- ・ 石橋直人, 森啓之, “ハイブリッドインテリジェントシステムを用いた電力価格予測”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 II, 論文番号 213)
- ・ 藤田創, 森啓之, “気温リスク交換契約の設計”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 II, 論文番号 215)
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “SVR を考慮した多目的再構成”, 平成 21 年電気学会 B 部門大会, 東京, 2009 年 8 月 (論文 II, 論文番号 220)
- ・ 蔣文駿, 森啓之, “DAEM を用いた負荷の相関関係を考慮した MCMC による確率潮流計算法”, 電気学会電力技術研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-51/PSE-09-59)
- ・ 藤田創, 森啓之, “ペイオフの等価性を考慮した天候デリバティブ契約の設計”, 平成 21 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-105/PSE-09-113)
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “多目的系統再構成に対する SPEA2 の適用”, 電気学会電力技術研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-107/PSE-09-115)
- ・ 室井貴行, 森啓之, “確率近傍選択による改良タブサーチを用いた配電系統事故復旧制御”, 電気学会電力技術研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-110/PSE-09-118)
- ・ 大川健太, 森啓之, “非線形燃料コスト関数を考慮した利益最大化のための発電機起動停止計画”, 電気学会電力技術研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-111/PSE-09-119)
- ・ 石橋直人, 森啓之, “MDL 原理に基づく回帰 2 進木を用いた電力価格予測”, 平成 21 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 東京, 2009 年 9 月 (資料番号 PE-09-129,PSE-09-137)
- ・ 蔣文駿, 森啓之, “ファジィクラスタリングを用いたグラフィカルモデリングによる電力負荷予測の因果関係解析”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-039)
- ・ 大川健太, 森啓之, “多目的経済負荷配分への MOEPSO の適用”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-059)
- ・ 高橋輝, 森啓之, “日射量予測における特徴抽出”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-077)
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “SVR を考慮した系統再構成に対する新しい多目的メタヒューリスティクスの開発”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-100)

- ・ 角田広樹, 森啓之, “SPEA2 による負荷の相関を考慮した多目的送電系統拡充計画”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-101)
- ・ 石橋直人, 森啓之, “ファジィ Random Forest を用いた電力価格予測”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-105)
- ・ 藤田創, 森啓之, “エネルギー会社間における天候デリバティブ契約の設計”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-108)
- ・ 室井貴行, 森啓之, “確率近傍選択による PTS を用いた配電系統復旧制御”, 平成 22 年電気学会全国大会, 東京, 2010 年 3 月 (論文番号 6-015)
- ・ 秋山正和, 手老篤史, 小林亮, “卵割の数理モデル”, 第19回日本数理生物学会, 東京大学, 東京, 2009 年 9 月
- ・ K. Takeda, T. Umedachi, T. Nakagaki, R. Kobayashi, A. Ishiguro, “Taming Many Degrees of Freedom: Fully Decentralized Control of a Soft-bodied Robot Inspired by True Slime Mold”, 2009 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS) Workshop/Tutorial,
- ・ T. Umedachi, K. Takeda, T. Nakagaki, R. Kobayashi, A. Ishiguro, “Taming Large Degrees of Freedom -A Case Study with an Amoeboid Robot-”, 2010 IEEE International Conference on Robotics and Automation
- ・ 勝山洋平, 荒川薫, “インタラクティブ進化計算を用いたカラー画像インパルス性雑音除去システム”, 電子情報通信学会ソサイエティ大会, 新潟大学, 新潟, 2009 年 9 月
- ・ 勝山洋平, 荒川薫, “対話型進化計算によるカラー画像インパルス雑音除去フィルタの最適設計”, 電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究会, 京都, 2009 年 12 月
- ・ 千嶋健太, 酒井靖弘, 荒川薫, “ハフ変換による可変フィルタ窓を用いた映像フィルムスクラッチの一修復法”, 電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究会, 神奈川工大, 神奈川, 2010 年 3 月
- ・ 京谷尚樹, 荒川薫, “ガウス混合型適応ウィナーフィルタを用いた音声インパクト雑音除去の方式”, 電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究会, 神奈川工大, 神奈川, 2010 年 3 月
- ・ 京谷尚樹, 荒川薫, “非定常成分抽出とガウス混合型適応ウィナーフィルタによる音声のインパクト雑音除去—複数種類のインパクト雑音に対して—”, 電子情報通信学会総合大会, 東北大学, 宮城県, 2010 年 3 月
- ・ 千嶋健太, 酒井靖弘, 荒川薫, “ハフ変換を用いた映像フィルムスクラッチの一修復法 —垂直に近い直線成分への対処—”, 電子情報通信学会総合大会, 東北大学, 宮城県, 2010 年 3 月
- ・ 末松 J.信彦, 栗津暁紀, 中田聡, 西森拓, “自律運動する樟脳舟の集団運動”, 第 15 回交通流のシミュレーションシンポジウム, 名古屋大学, 愛知, 2009 年 12 月 (講演集, pp.49-52) (査読あり)
- ・ 新屋啓文, 西森拓, 栗津暁紀, “結合断面模型による 3 次元砂丘の形状とダイナミクス”, 第 15 回交通流のシミュレーションシンポジウム, 名古屋大学, 愛知, 2009 年 12 月 (講演集,

pp.53-56) (査読あり)

- 藤井雅史, 栗津暁紀, 西森拓, “走化性を考慮した準一次元交通流におけるクラスターの成長と流量の関係”, 第 15 回交通流のシミュレーションシンポジウム, 名古屋大学, 愛知, 2009 年 12 月(講演集, pp. pp.57-60) (査読あり)
- 西川正俊, 柴田達夫, “バクテリアの適応反応で生じるノイズと走化性”, 理研シンポジウム”細胞システムの動態と論理”, 理化学研究所, 埼玉, 2009 年 4 月
- 柴田達夫, ”自発的なシグナル生成”, 理研シンポジウム”細胞システムの動態と論理”, 理化学研究所, 埼玉, 2009 年 4 月
- 柴田達夫, ”細胞スケールの現象を1細胞イメージングと数理モデルにより解明する”, 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻シンポジウム ”数理生命科学の形成と発展”, 広島大学, 広島, 2009 年 9 月
- 西川正俊, 柴田達夫, “センシングのノイズはバクテリアの走化性を向上する”, 理論と実験 研究会, 広島大学, 広島, 2009 年 10 月
- 柴田達夫, ”細胞性粘菌の運動解析”, 理論と実験 研究会, 広島大学, 広島, 2009 年 10 月
- 西川正俊, 柴田達夫, “Bacterial chemotaxis is enhanced by nonadaptive fluctuation in sensory system”, 第 47 回日本生物物理学会年会, アスティとくしま, 徳島, 2009 年 10 月
- 松岡里実, 柴田達夫, 上田昌宏, “拡散係数の異なる 2 状態を遷移する分子の拡散と細胞膜からの解離に関する解析”, 第 47 回日本生物物理学会年会, アスティとくしま, 徳島, 2009 年 10 月
- M. Nishikawa, T. Shibata, “Relationship between the noise in adaptation reaction and the chemotactic performance in bacterium”, Gordon Research Conference, Hotel Galvez, Texas, USA., 2009 年 4 月
- 柴田達夫, “走化性シグナル伝達系におけるゆらぎの生成, 増幅, 伝搬”, 第 16 回べん毛交流会, 三谷温泉, 愛知, 2010 年 3 月
- 若野友一郎, “包括適応度理論の基礎:マルコフ連鎖における定常分布を用いて”, 数理生物学会, 東京大学, 2009 年 9 月
- 二宮広和, “Allen-Cahn 方程式の進行波解と全域解”, 北陸 M 倶楽部, 富山大学, 2009 年 8 月
- 二宮広和, “反応拡散系に現れるさまざまな形の進行波解”, 「反応拡散系をめぐる最近の話題」, 京都産業大学, 京都, 2010 年 2 月
- 二宮広和, “反応拡散系に現れる進行波解と全域解”, 「さいたま数理解析セミナー」, 埼玉大学サテライトキャンパス, 埼玉, 2010 年 3 月
- 草野完也, “太陽面爆発と宇宙天気の 予知可能性に関するモデリング研究”, 日本地球惑星科学連合大会, 幕張, 2009 年 5 月
- 草野完也, “太陽フレアと CME の予測 シミュレーションへ向けた取り組み”, 太陽地球惑星系科学シミュレーション技法勉強会 & NICT 計算機シミュレーション研究会, 福岡, 2009 年 8 月
- 草野完也, “宇宙天気予報を目指した太陽嵐のモデリング研究,” 宇宙天気研究会, 京都, 2009 年 8 月
- 草野完也, “非線形フォース・フリー磁場モデルを利用した数値実験に基づくフレア発生機構の

- 研究”，日本天文学会 2009 年秋季年会，山口大学，山口，2009 年 9 月
- 草野完也，“太陽磁場観測に駆動された 太陽地球結合モデルによる宇宙天気 予知の可能性について”，第 126 回 SGEPS 総会及び講演会，金沢大学，石川，2009 年 9 月
 - 草野完也，“太陽圏シミュレーション”，エネルギー科学における多階層連結コンピューティング 国際高等研究所，京都，2009 年 10 月
 - 草野完也，“多階層連結現象の理解へ向けた シミュレーションの試み”，第 7 回流体力学会中部支部講演会，名古屋大学，愛知，2009 年 10 月
 - 草野完也，“太陽フレアはなぜ起きる？ — プラズマにおける突発現象の物理について —”，名古屋大学素粒子宇宙 GCOE (分野 3) 分野横断セミナー，名古屋大学，愛知，2009 年 10 月
 - 草野完也，“太陽フレア発生機構”，京都大学基礎物理学研究会，京都大学，京都，2009 年 11 月
 - 草野完也，“Numerical experiments of the 2006 Dec. 13 flare based on Hinode vector magnetograms”，The 3rd Hinode Science Meeting，東京，2009 年 12 月
 - 草野完也，“宇宙・地球表層・地球内部の関連モデリング”，地球シミュレータ利用報告，JAMSTEC 横浜研究所，神奈川，2010 年 1 月
 - 草野完也，“Space Weather Study - Flare Forecast -”，ISAS/JAXA The 2nd Solar-C Science Definition Meeting，宇宙科学研究本部，神奈川，2010 年 3 月
 - 草野完也，塩田大幸，山本哲也，井上諭，“非線形フォース・フリー磁場モデルを利用した数値実験に基づく フレア発生機構の研究 II”，日本天文学会 2010 年春季年会，広島大学，広島，2010 年 3 月
 - K. Sugihara，“Selective perturbation in geometric computation”，Canada-Japan Conference on Discrete and Computational Geometry, Tokyo, 2009 年 7 月
 - H. Koizumi, K. Sugihara, “Maximum eigenvalue problem for Escherization”，The 7th Japan Conference on Computational Geometry and Graphs, Kanazawa, 2009 年 11 月 (Abstracts, pp. 53-54)
 - T. Hara, K. Sugihara, “Computer-aided design of pop-up books with two-dimensional V-fold structures”，The 7th Japan Conference on Computational Geometry and Graphs, Kanazawa, 2009 年 11 月 (Abstracts, pp.109-110)
 - 杉原厚吉，“錯覚は，足りない情報を補おうとして失敗したとき生じる～「だまし絵」から「勘違い」まで～”，錯覚ワークショップ，明治大学，東京，2009 年 9 月
 - 小泉拓，杉原厚吉，“エッシャー風タイリングの計算機支援設計”，NICOGRAPH 2009，東京工科大学，東京，2009 年 10 月
 - 原拓矢，杉原厚吉，“ポップアップブックの計算機支援設計”，NICOGRAPH 2009，東京工科大学，東京，2009 年 10 月
 - 杉原厚吉，“数理を用いたエッシャー芸術への挑戦2～「空と水」風タイリングアートの自動生成法”，明治大学グローバルCOEプログラム現象数理談話会，明治大学，神奈川，2010 年 2 月
 - 上山大信，“リーゼガング型沈殿パターンへの核生成頻度の影響—モデリング及びシミュレーションからのアプローチ—”，京都駅前セミナー，キャンパスプラザ京都 6 回第 7 講習室，京都，

2009年10月

- 上山大信, “リーゼガング型沈殿パターンへのノイズの影響—シミュレーションからのアプローチ—”, ワークショップ「創発現象の世界」(World of Emerging Phenomena), 九州大学西新プラザ・大講義室, 福岡, 2009年10月

➤ ポスター発表

- H. Kakuta and H. Mori, “Transmission Network Expansion Planning in Consideration of a Probabilistic Reliability Criterion”, Meiji –Hiroshima Univ. GCOE Symposium, Hiroshima, 2009年9月
- Hajime Fujita and Hiroyuki Mori, “A Metaheuristic Method for Parameter Estimation in Weather Derivatives”, Meiji –Hiroshima Univ. Global COE Symposium, Hiroshima, 2009年9月
- Wenjun Jiang and Hiroyuki Mori, "An MCMC-Based Probabilistic Load Flow with DAEM Algorithm", ISSE2009, Poster No.1, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Takayuki Muroi and Hiroyuki Mori, "Probabilistic TS for Distribution System Service Restoration Algorithm", ISSE2009, Poster No.2, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Takafumi Yoshida, and Hiroyuki Mori, "An Efficient Multi-objective Meta-heuristics for Optimal Allocation of SVRs in Distribution Networks", ISSE2009, Poster No.3, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Kenta Okawa and Hiroyuki Mori, "MOPSO for Multi-objective Economic Load Dispatching with CO₂ Emission Generation System and Evaluation of the Economy and Environment", ISSE2009, Poster No.4, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Naoto Ishibashi, and Hiroyuki Mori, "Estimating Load Margin for Voltage Stability Contingency Screening with Hybrid Intelligent System", ISSE2009, Poster No.5, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Akira Takahashi and Hiroyuki Mori, "Application of Preconditioned Gaussian Processes to Maximum Temperature Forecasting for Short-term Load Forecasting", ISSE2009, Poster No.6, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Hiroki Kakuta, and Hiroyuki Mori, "Multi-objective Meta-heuristics for Probabilistic Transmission Network Expansion Planning with Controlled NSGA-II", ISSE2009, Poster No.7, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)
- Hajime Fujita and Hiroyuki Mori, "An Efficient Design Method for Weather Derivatives between Energy Utilities", ISSE2009, Poster No.8, Tokyo, 2009年12月 (Proc. of ISSE2009, 4pages)

- 田中雅宏, 風間俊哉, 小林亮, “ヘビの運動の数理モデル”, 第19回日本数理生物学会, 東京大学, 東京, 2009年9月
- 奥野拓也, 風間俊哉, 小林亮, “Amoeba proteus の運動の数理モデルからのアプローチ”, 第19回日本数理生物学会, 東京大学, 東京, 2009年9月
- T. Shibata, A. Nagamatsu, N. Akuzawa, M. Nishikawa, “Statistical Analysis of pseudopodia formation in Dictyostelium cells”, Gordon Research Conference, Hotel Galvez, Texas, USA, 2009年4月
- M. Nishikawa, T. Shibata, “Relationship between the noise in adaptation reaction and the chemotactic performance in bacterium”, Gordon Research Conference, Hotel Galvez, Texas, USA, 2009年4月
- S. Matsuoka, T. Shibata, M. Ueda, “Diffusion process of signaling molecules switching two states with different mobility”, Gordon Research Conference on Gradient Sensing & Directed Cell Migration, Galveston, Texas, USA, 2009年4月,
- Y. Miyanaga, T. Shibata, M. Ueda, “Single-molecule imaging analysis of heterotrimeric G protein dynamics in early signaling events of chemotactic responses”, Gordon Research Conference on Gradient Sensing & Directed Cell Migration, Galveston, Texas, USA, March 29 - April 3, 2009,.
- 難波利典, 西川正俊, 柴田達夫, “大腸菌走化性精度の誘引物質依存性に関する理論解析”, 理研シンポジウム “細胞システムの動態と論理”, 理化学研究所, 埼玉, 2009年4月
- 阿久澤直弘, 柴田達夫, “細胞性粘菌の運動解析”, 理研シンポジウム “細胞システムの動態と論理”, 理化学研究所, 埼玉, 2009年4月
- 難波利典, 西川正俊, 柴田達夫, “What determines the accuracy of Bacterial Chemotaxis?”, 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻シンポジウム “数理生命科学の形成と発展”, 広島大学, 広島, 2009年9月
- M. Nishikawa, T. Shibata, “Nonadaptive fluctuation in adaptive sensory system of bacterial chemotaxis”, 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻シンポジウム “数理生命科学の形成と発展”, 広島大学, 広島, 2009年9月
- 大山俊亮, 柴田達夫, “Generation of large spike-like fluctuations in the Oosawa model(大沢モデルにおける大きなスパイク状の揺らぎ生成)”, 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻シンポジウム “数理生命科学の形成と発展”, 広島大学, 広島 2009年9月
- 難波利典, 西川正俊, 柴田達夫, “大腸菌走化性精度の誘引物質依存性について”, 理論と実験 研究会, 広島大学, 広島 2009年10月
- M. Nishikawa, T. Shibata, “Nonadaptive fluctuation in adaptive sensory system of bacterial chemotaxis”, International Symposium on COMPLEX SYSTEMS BIOLOGY, 東京大学, 東京, 2009年9月
- 難波利典, 西川正俊, 柴田達夫, “What determines the accuracy of Bacterial Chemotaxis?”, 第47回日本生物物理学会年会, 徳島キャンパス・アスティとくしま, 徳島文理

大学, 徳島, 2009年10月

- Y. Miyanaga, M. Hori, T. Shibata, M. Ueda, “Two state model of G protein-coupled chemoattractant receptors for directional sensing in chemotaxis”, 第47回日本生物物理学会年会, 徳島キャンパス・アスティとくしま, 徳島文理大学, 徳島, 2009年10月
- 大山俊亮, 柴田達夫, “Generation of large spike-like fluctuations in the Oosawa model(大沢モデルにおける大きなスパイク状の揺らぎ生成)”, 第47回日本生物物理学会年会, 徳島キャンパス・アスティとくしま, 徳島文理大学, 徳島, 2009年10月
- S. Matsuoka, T. Shibata, M. Ueda, “Statistic analysis of lateral diffusion and lifetimes of single molecules on membranes”, Single Molecule Biology Symposium, 2nd Kanazawa Bio-AFM Workshop, Senri Lifescience Center, Osaka, 2009年12月
- T. Shibata, Y. Arai, S. Matsuoka, M. J. Sato, M. Ueda, “Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system of chemotactic eukaryotic cells Dictyostelium”, International Symposium Fifty years of Biophysics Research at Nagoya University, Nagoya University, Nagoya, 2010年3月
- J. Y. Wakano, “Self-organized pattern formation in bacteria colony pattern formation”, Multiscale Analysis of Self-Organization in Biology, Banff Canada, 2009年7月
- 草野完也, “Three-dimensional Simulation Study of the Solar Eruption on 2006 December 13”, アメリカ地球物理学連合 AGU 2009 Fall meeting, サンフランシスコ, USA, 2009年12月

(6) マスメディアでの紹介

ア. 新聞記事

- 向殿政男, “「公助, 自助, 共助」で安心社会の構築へ”, NIKKEI 安全づくりプロジェクト」シンポジウム広告企画, 日本経済新聞, 2009年12月21日
- 向殿政男, “調査「国から独立を」”, 毎日新聞, 2009年11月5日
- 向殿政男, “原因究明で再発防止:エレベータ死亡事故シンポ報道”, 毎日新聞, 2009年6月5日
- 向殿政男, “私情協, 公益社団化へ定款変更”, 全私学新聞, 2009年6月3日
- 向殿政男, “「安全」守る技術と哲学”, 読売新聞, 2009年4月28日
- 向殿政男, “住いの「安全・安心環境」の新潮流”, 日本経済新聞(全面広告), 2010年2月1日
- 向殿政男, “「安全」を日本のブランドに”, NIKKEI 安全づくりプロジェクト(全面広告), 日本経済新聞, 2010年1月28日
- 小林亮, “粘菌が描く関東の路線図”, 毎日新聞, 2010年1月22日
- 小林亮, “現実そっくり 粘菌鉄道網”, 読売新聞, 2010年1月22日
- 小林亮, “粘菌が描く路線図”, 日経新聞, 2010年1月22日
- 小林亮, “ネットワーク 粘菌から学べ”, 東京新聞, 2010年1月22日
- 小林亮, “効率的な輸送網は粘菌に学べ”, 中日新聞, 2010年1月22日
- 小林亮, “通信網整備に粘菌の知恵”, 中国新聞, 2010年1月22日

- ・ 小林亮, “鉄道網作りは粘菌にお任せ”, 中日新聞, 2010年1月22日
- ・ 小林亮, “鉄道網, 通信網づくり 粘菌にお任せ”, 京都新聞, 2010年1月22日
- ・ 三村昌泰, “理系博士の完全雇用目標”, 読売新聞朝刊, 読売新聞, 2010年3月17日
- ・ 草野完也, “皆既日食こう見える 磁場データから予測画像を作成”, 日本経済新聞, 2009年6月29日
- ・ 草野完也, “科学 温暖化バトル 懐疑論は本当か”, 朝日新聞朝刊, 朝日新聞, 2009年7月3日
- ・ 草野完也, “進む「宇宙天気予報」太陽活動や磁気嵐を把握 名大など成功”, 中日新聞朝刊, 中日新聞, 2010年3月16日
- ・ 草野完也, “太陽嵐 スパコンで再現「宇宙天気予報」精度アップ期待”, 朝日新聞夕刊, 朝日新聞, 2010年3月16日
- ・ 草野完也, “太陽嵐 スパコンで再現”, 毎日新聞, 2010年3月16日
- ・ 草野完也, “太陽嵐 スパコンで再現”, 京都新聞, 2010年3月16日
- ・ 草野完也, “太陽嵐 スパコンで再現”, 産経新聞, 2010年3月16日
- ・ 草野完也, “太陽嵐 スパコンで再現”, 日刊工業新聞, 2010年3月16日
- ・ 杉原厚吉, 「最終講義を終えて・・・」で, インタビュー記事掲載, 東京大学新聞, 2009年4月7日
- ・ 杉原厚吉, 書評欄で「数の国のルイス・キャロル」の書評, 日本経済新聞, 2009年4月19日
- ・ 杉原厚吉, 書評欄で「自然界の秘められたデザイン」の書評, 日本経済新聞, 2009年8月23日
- ・ 杉原厚吉, 書評欄で「シンメトリーの地図帳」の書評, 日本経済新聞, 2010年3月28日

イ. 雑誌記事

- ・ 向殿政男, “イノベーション都市川崎への期待”, 新産業政策研究かわさき((財)川崎市産業振興財団 新産業政策研究所), No.7, 2009年12月
- ・ 向殿政男, “安全化技術の新しい潮流と企業の安全文化の指標”, 山九技法, Vol.19, 2009年5月
- ・ 向殿政男, “30周年のSS研と私”, 30周年記念誌 サイエントフィック・システム研究会, 2009年5月
- ・ 向殿政男, “私情協の役割と展望 巻頭言”, 大学教育と情報, Vol.18, No.2, 2009年4月
- ・ 向殿政男, “現場の“安全知”をまとめ上げ, 体系的な安全学を確立すべき直言“, 日経ものづくり, No.1, 日経BP社, 2010年1月
- ・ 向殿政男, “「安全確認型」と「ハイボールの原理」, 安全は, 構造と原理でつくり込む直言“, 日経ものづくり, No.2, 日経BP社, 2010年2月
- ・ 向殿政男, “犯人探だけでは事故は防げない, 原因究明こそが未来に対する責任直言“, 日経ものづくり, No.3, 日経BP社, 2010年3月
- ・ 向殿政男, “リスクアセスメントに基づく我が国の新しい安全文化の構築へ 巻頭言“, 労働安全衛生研究, Vol.1, No.2, 2010年3月
- ・ 小林亮, “Amoeba-Inspired Network Design”, Science, AAAS, 327, pp.419-430, 2010年1月
- ・ 小林亮, “粘菌に学ぶ効率的な輸送網”, Newton, ニュートンプレス, 2010年2月
- ・ 三村昌泰, “グローバル COE プログラム採択で教育・研究のさらなる発展が始動する”, アエラ, 朝日新聞社, 2008年9月29日号
- ・ 草野完也, “太陽フレアが起こってプラズマが襲いかかる!?”, R25, リクルート, 2009年11月4日

- ・ 杉原厚吉, “幾何とグラフィックス”, 数理科学, No. 550, 2009年4月
- ・ 杉原厚吉, “眼の錯覚はなぜ起こる? --- グリーンの読み違いももしかして, コレ?”, 月刊ゴルフダイジェスト, ゴルフダイジェスト社, 8月号, pp.89-93, 2009年6月
- ・ 杉原厚吉, “エッシャーのだまし絵に挑戦: 不思議な図形に隠された視覚のトリック”, Newton, 10月号, pp.68-77, 2009年8月
- ・ 杉原厚吉, 「数学セミナー」表紙画の提供(ポロノイ図を利用したコンピュータアート), 日本評論社, 4, 5, 6月号, 2009年4, 5, 6月
- ・ 杉原厚吉, “押忍! 数学道”(連載記事), 子供の科学, 誠文堂新光社, 2009年4月号から2010年3月号まで毎月

ウ. テレビ

- ・ 向殿政男, “製品の安全”, 世界一受けたい授業, 日本テレビ, 2009年12月12日
- ・ 草野完也, サタデーバリューフィーバー, 日本テレビ, 2009年11月7日
- ・ 杉原厚吉, “錯視立体の紹介”, 行列のできる法律相談所, 日本テレビ, 2009年4月12日
- ・ 杉原厚吉, “錯視の原因について解説”, 奇跡体験アンビリバボー, フジテレビ, 2009年6月11日
- ・ 杉原厚吉, “錯視立体の紹介”, ぶらり途中下車の旅, 日本テレビ, 2009年6月27日
- ・ 杉原厚吉, “錯視立体の紹介”, イブニングフラッシュ, 日本テレビ, 2009年9月2日
- ・ 杉原厚吉, “錯視立体などを紹介”, こんにちは, いっと6けん, NHK, 2009年12月13日
- ・ 杉原厚吉, “ゆかいなダマされ方 ~素晴らしき錯視の世界~”, WOWOW ドキュメンタリー, WOWOW, 2010年2月13日
- ・ 杉原厚吉, “不可能立体が紹介される”, 世界スゴ技映像 55 連発, 仰天ミラクルシアター, テレビ東京, 2010年2月23日

(7) 研究集会の主催

- ・ 向殿政男, 2009年5月21-23日, Naha, Okinawa, Japan, ”ISMVL 2009 39th International Symposium on Multiple-Valued Logic”, 120名(50名)
- ・ 森啓之, 2009年4月23日, 明治大学アカデミーコモン, 国際シンポジウム JTPSS2009, (Japan Taiwan Power System Symposium 2009), 35名(4名), 早稲田大学 横山隆一教授, 東京電力 山田剛志博士, 中山大学 洪教授, 中山大学 陳教授
- ・ 森啓之, 2009年10月24日, 韓国ソウル COEX, IEEE Transmission and Distribution Asia 2009 において電力系統におけるデータマイニング応用の特別セッション企画, 200名(190名), ポルトガル ポルトガル ポルト大学 Z.Vale 教授, ブラジル イタイプ工科大学 G. Torres 教授
- ・ 森啓之, 2009年12月9日, 明治大学アカデミーコモン, 国際シンポジウム ISSE2009 (International Symposium on Sustainable Energy 2009), 50名(4名), 香港大学 F.F. Wu 教授, 米国 Texas A&M 大学 C. Singh 教授, ポルトガル INSEC V. Miranda 教授, 台湾国立成功大学 L. Wang 教授

- ・ 森啓之, 2010年1月14日, 明治大学大学会館, International Workshop on Network Design, 18名(1名), コーネル大学 H.D. Chiang 教授, 富士電機システムズ 福山良和博士
- ・ 西森拓, 2009年9月3, 4日, 広島大学学士会館, 東広島市, “「数理生命科学の形成と発展」広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻設立 10周年記念シンポジウム 兼 明治大学-広島大学連携グローバル COE プログラム広島キックオフフォーラム”, 160名(2名), 近藤滋 (大阪大学), A. S. Mikhailov (Fritz-Haber-Institut), 元村有希子 (毎日新聞社), 野地澄晴 (徳島大学), 野々村真規子 (JST さきがけ研究員)
- ・ 三村昌泰, 2009年7月7-9日, 明治大学, “International Workshop on Self-organization in chemical and biological systems”, 約 80名(10名), 西浦廉政 (北海道大学), T. Yamaguchi (AIST), K. Showalter (West Virginia Univ.), D. Ueyama (明治大学)
- ・ 三村昌泰, 2009年12月1-4日, 明治大学, 東京, “The 2nd Chile-Japan Workshop on Nonlinear Elliptic and Parabolic PDEs”
- ・ 三村昌泰, 2009年12月9-11日, 明治大学, 東京, “現象数理学冬の学校「パターンダイナミクス 1-2-3」”, 西浦廉政(北海道大学), 小川知之 (大阪大学), 上山大信 (明治大学)
- ・ 三村昌泰, 2010年3月15日, “Workshop on Spatio-temporal patterns from Mathematics to Biological Applications”, 約 50名(35名), Geneva, スイス, D. Hilhorst, J. Demouget and H. Matano
- ・ 二宮広和, 2009年6月24-26日, 京都大学数理解析研究所, 京都, “研究集会「散逸系の数理 -- パターンを表現する漸近解の構成」”, 62名, 栄伸一郎(九州大学), 山口智彦(産業技術総合研究所), 高木拓明(奈良県立医科大学), 真原仁(産業技術総合研究所)
- ・ 二宮広和, 2009年12月1-4日, 明治大学, “2nd Chile-Japan Workshop on Nonlinear Elliptic and Parabolic PDE”, 約 80名 (30名), P. Felmer (Universidad de Chile), M. Kowalczyk (Universidad de Chile), M. del Pino, (Universidad de Chile), 大谷光春 (早稲田大学), 鈴木貴(大阪大学), 俣野博(東京大学)
- ・ 二宮広和, 2010年3月5日, 明治大学, “筋の数理”, 約 20名, 石井直方(東京大学), 八田秀雄(東京大学), 山田武範 (東京理科大学), 水村信二 (明治大学)
- ・ 杉原厚吉, 2009年9月9-10日, 明治大学, 東京, “錯覚ワークショップ”, 80名(0名), 原島博 (東京大学名誉教授), 北岡明佳(立命館大学), 山口泰(東京大学)
- ・ 杉原厚吉, 2010年3月16-17日, 明治大学, 東京, “第2回錯覚ワークショップ”, 80名, 谷岡一郎(大阪商業大学学長), 出澤正徳(電気通信大学), 中島祥好(九州大学大学)

(8) 国内外集中講義

- ・ 岡部靖憲, “確率論及び統計学特論 II”, 確率統論, 学習院大学, 東京, 2009年9月24日-3月31日
- ・ 森啓之, “電力系統解析のオリエンテーション”, 総合講義 E, 電気学会東京支部寄付講義, 明治大学, 東京, 8月3日
- ・ 森啓之, “リアルオプション”, “天候デリバティブ”, 総合講義 F (2コマ), 電気学会東京支部寄付

講義, 明治大学, 東京, 8月27日

- ・ 西森拓, “自然現象の「そのままモデリング」入門”, 複雑系の物理学特論 I, 奈良女子大学, 奈良, 2009年12月9-11日
- ・ 若野友一郎, “社会と生態系の数理: 血縁選択理論の基礎”, 先端数理科学 II, 明治大学, 東京, 2009年9月14-17日
- ・ 砂田利一, “Quantum Walk”, 数理科学研究科集中講義, 東京大学数理科学研究科, 東京, 2009年12月14-18日
- ・ 二宮広和, “反応拡散系の進行波解と全域解”, 数理概論, 大阪大学, 大阪, 2009年10月26-29日
- ・ 草野完也, “創成シミュレーション特別講義2”, 名古屋工業大学, 愛知, 2009年11月12-13日
- ・ 草野完也, “地球惑星特別講義2”, 東京工業大学, 東京, 2009年11月26-27日
- ・ 杉原厚吉, “だまし絵と立体錯視”, 理工学研究科総合講義 C, 明治大学, 神奈川, 2009年4月16日
- ・ 杉原厚吉, “計算幾何学とその応用”, 特別講義, 九州大学, 福岡, 2009年10月7-8日